

石川県における イナゴ類の発生分布



農業試験場
資源加工研究部
生物資源グループ

渡邊 照之

イナゴの生態

卵



越冬

幼虫



6月～

成虫



7,8月～

被害



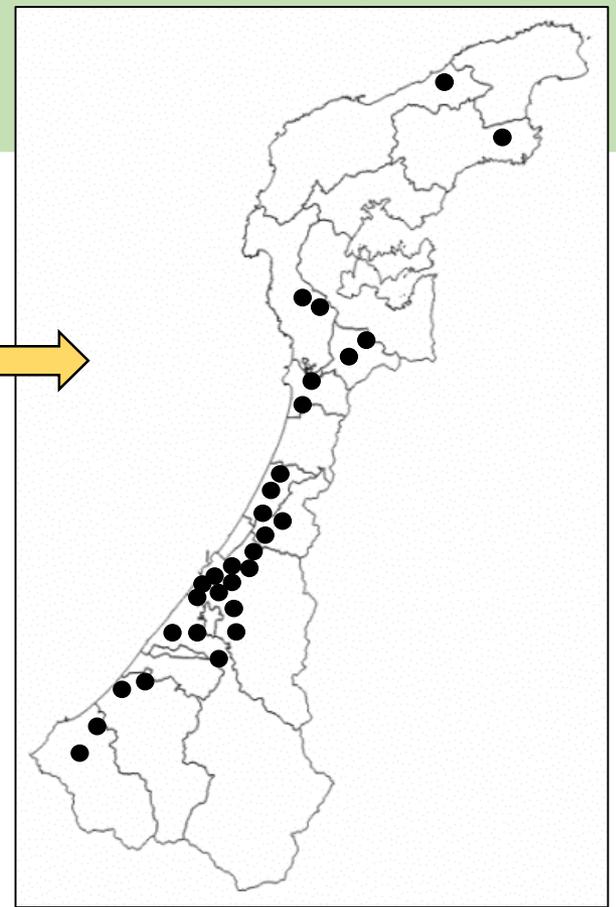
イネの葉を食害する
(一部穂を食害するものも)



コンビニなどの
商業施設に大量飛来

調査内容

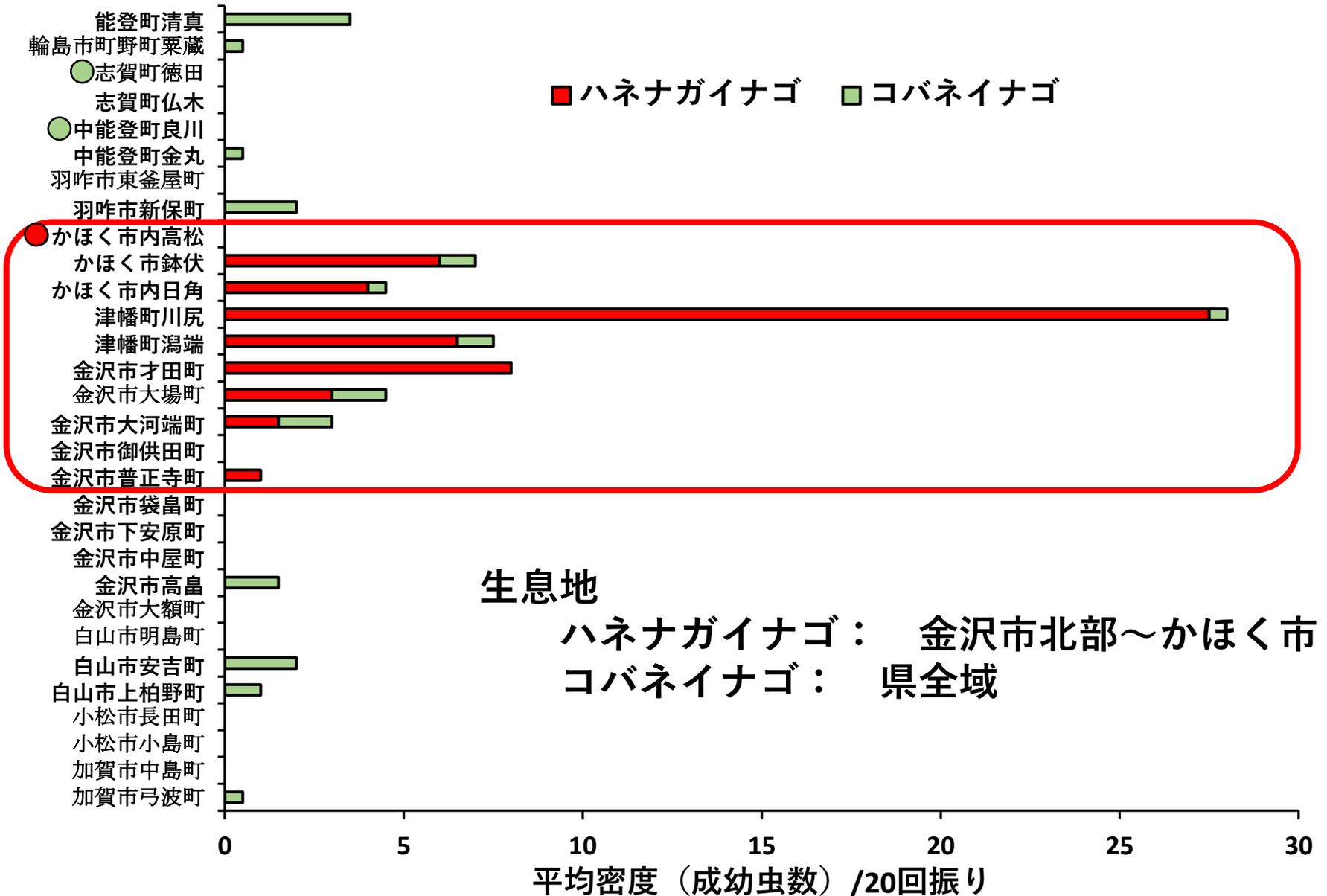
- 調査期間： 8～10月
- 調査地点： 県内30地区
- 調査方法： すくい取り 20回振り
× 2圃場



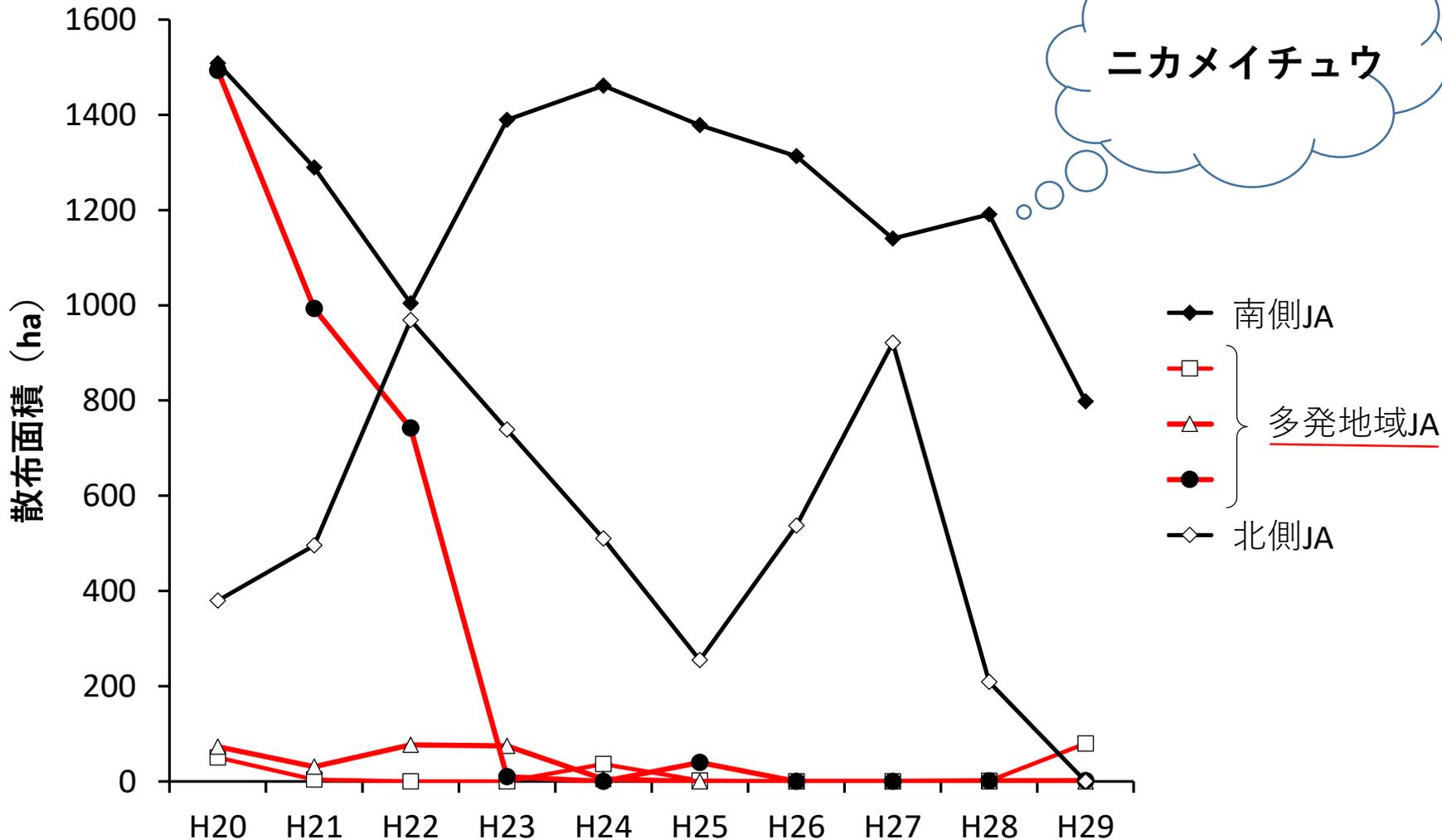
- 調査項目：種（コバネイナゴ or ハネナガイナゴ）



結果



多発地域周辺のフィプロニル剤使用推移



○多発地域では、イナゴ類に効果の高いフィプロニル剤の使用面積が少ない傾向にある

まとめ

- 今すぐ防除が必要な発生量ではないが、
金沢市～かほく市でイナゴ類が高密度
(同地域ではハネナガイナゴが多発)
- フィプロニル剤の使用が減少傾向
イナゴ類が生息地を拡大する恐れがある